

演奏会のお知らせ 菊里高校音楽科サマーコンサート

- 日時** 平成28年7月23日(土)14:00~15:00
場所 松波総合病院 南館エントランスホール
演奏曲 1. ブーランク ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第1楽章(Vn)
 2. メンデルスゾーン 無言歌(Vc)
 3. ショパン 舟歌(Pf)
 4. ビエルネ 即興的奇想(Hp)
 5. 合奏 日本の四季 他
出演者 ヴァイオリン: 高松 亜衣 ピアノ: 井上 莉那
 チェロ: 鈴木 海市 ハープ: 天野 世理



向田成人ピアノリサイタル

- 日時** 平成28年8月27日(土)16:00~
場所 松波総合病院 南館エントランスホール
演奏曲 1. ショパン: 24の前奏曲より抜粋
 2. ショパン: 夜想曲2番
 3. リスト: 愛の夢3番
 4. リスト: 演奏会用練習曲3番 ため息
 5. ショパン: ワルツ6番小犬
 6. ショパン: ワルツ14番遺作
 7. リスト: ロマンズ
 8. リスト: ハンガリー狂詩曲15番ラーコツィ行進曲
 9. ショパン: 夜想曲20番遺作
 10. ショパン: ポロネーズ6番英雄 その他



講演会のお知らせ

第17回 岐阜南NST研究会

- 【日時】** 平成28年8月25日(木) 18:30~20:00
【場所】 松波総合病院 MGHホール
【テーマ】 「嚥下評価における頸部聴診法 活用のポイント」
【講師】 医療法人聖徳会 小笠原内科 小笠原訪問看護ステーション 技師長 言語聴覚士 大野木 宏彰先生

駐車場・交通のご案内



7
2016 July
No.201

患者さまと病院をつなぐかけはし

まつなみ

【発行】 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

7月号・8月号連載企画

「夜尿症外来」
新設の
お知らせ

夜尿症について学びましょう。

平成28年4月1日より、まつなみ健康増進クリニック小児科外来にて夜尿症外来を開設致しました。月刊まつなみ7月号では、この「夜尿症」について詳しくご紹介していきます。

夜尿症について

【はじめに】

松波総合病院では、2016年4月から夜尿症の専門外来を開設しています。対象は、年齢を問わず、夜尿(おねしょ)および昼間遺尿(おもらし)でお困りのお子さんです。

担当する医師は、非常勤の小児科医師 吉田茂です。吉田医師は、日本夜尿症学会の常任理事で第26回日本夜尿症学会学術集会(2015年、名古屋開催)の大会長を務めたこともある夜尿症の専門家です。

夜尿症外来では、主に以下の様な内容の診療を行います。

- **除外診断**
- 夜尿の原因になるような病気が隠れていないかを調べます
- **病型分類**
- 夜尿のタイプを調べて、効果的な治療に役立てます
- **生活指導**
- ビデオ、パンフレット等も用意しています

● 薬物治療

- 必要に応じて、なるべく副作用の少ない効果的なお薬を用います

● 行動記録

- おひさまカレンダー等の記録を付けていただきます

さらに、特長なことは、診療に積極的にIT(情報技術)を取り入れ、診療に必要なデータの分析や評価を的確に行い、診療の質の向上に努めるとともに、お子さんが外来で楽しく自分の行動記録をPC入力し、夜尿の改善状態を評価して、一緒に前向きに治療に取り組める環境をご用意しています。

【夜尿とは】

幼児期を過ぎても夜間睡眠中に無意識に排尿する状態を夜尿と言います。幼児期は「おねしょ」と呼んでいますが、5歳を過ぎた頃からは「夜尿症」として診療の対象と考えています。基本的に、「おね

しょ」も「夜尿症」も同じ現象を指しますが、「おねしょ」と呼んでいる間は、「誰にでもよくあることだから心配ないよ」という意味が込められ、「夜尿症」と呼ぶようになると、「積極的に治すべきもの」と考えることが多いです。

夜尿(おねしょ)をするお子さんの割合は、月に1~2回程度の夜尿は、3歳で35%(全体の約1/3)、4歳で25%(全体の約1/4)、5歳で約20%(全体の約1/5)、小学校1年生でも約10%、小学校5年生でも約5%のこどもに夜尿を認めます。さらに、成人を対象に行われた調査では、約0.2%(1000~2000人に1人)に夜尿を認めています。

昔は、夜尿の原因は、親のしつけの問題(トイレトレーニングの失敗)とか精神的なものと言われていましたが、現在では、これらの原因は否定的で、夜尿症は純粋に身体の問題であると捉えることが主流になっています。

次のページに続きます→

夜尿の原因は主に以下の3つの要素が絡んでいます。

- **夜間尿量の増加**
一晩、寝ている間のおしっこの量が多い
- **夜間膀胱容量の減少**
一晩、寝ている間に膀胱に貯められるおしっこの量が少ない
- **夜間尿意覚醒の未熟性**
一晩、寝ている間におしっこが漏れそうになっても目覚めない

【夜尿の原因】

- **夜間尿量の増加**
一晩、寝ている間のおしっこの量が多い

お子さんの成長発達過程で、一日のおしっこの量は昼間に多く作られ、夜間は少なくなっていきます。これは、おしっこを濃くして量を減らそうとするホルモン（ADH 抗利尿ホルモン）が、昼間は少なく、夜に多く分泌されるリズムができるからです。

夜尿症のお子さんの場合、この抗利尿ホルモンの分泌リズムが不十分で、

夜間に十分おしっこを濃くすることができず、夜間の尿量が増えてしまうことがあります。

- **夜間膀胱容量の減少**
一晩、寝ている間に膀胱に貯められるおしっこの量が少ない

通常、夜尿のないお子さんや大人では、夜間は昼間以上にたくさんのおしっこが貯められるように膀胱が大きく広がってくれます。これは夜、寝ている間にできるだけ起きて排尿する必要がないように、発達段階で身体が身に付ける合理的な仕組みです。

夜尿症のお子さんの中には、夜間のおしっこの量がそれほど多くないにもかかわらず、おしっこを貯め切れず、夜尿をしてしまう方がいます。こういうお子さんには、夜間の膀胱容量が少なくなっていることがあります。このタイプのお子さんの中には、昼間の遺尿（おもらし）をしてしまう方もいます。

- **夜間尿意覚醒の未熟性**
一晩、寝ている間におしっこが漏れそうになっても目覚めない

夜中、おしっこが出る前に目が覚めてトイレに行けば、布団を濡らすことはありません。通常、夜尿のないお子さんや大人では、寝る前に水分を取り過ぎた場合などは、夜間に尿意で目が覚めることで対応可能です。しかしながら、夜尿症のお子さんでは、覚醒反応が未熟であり、夜尿をしてパジャマや布団までぐっしょり濡れても、朝までまったく気付かずに寝ている方が多く、夜間尿意による覚醒反応が未熟であると言われています。



小児科 医師 吉田 茂

夜尿症外来 紹介映像

松波総合病院ホームページにて夜尿症外来のご紹介映像を公開中です。

なぜ、おねしょするの？

- 夜に作られるおしっこの量が多すぎる
- 夜に溜められるおしっこの量が少なすぎる
- おしっこが一杯になったときに目が覚めない

「夜尿症外来について」の映像はこちら↑

www.matsunami-hsp.or.jp/shinryouka/senmon_gairai/yanyosho_gairai/
詳しくはこちらをご覧ください↑

ホームページTOPのこちらからもご覧いただけます。

2016年5月・6月の入職ドクターのご紹介

1

5月より松波総合病院総合内科に赴任した山川 顕吾と申します。4月までは岐阜大学病院の糖尿病・内分泌内科に所属していました。これまでは糖尿病患者さんを中心に診てきましたが、これからは内科一般を担当していきます。若輩者であり至らぬ点も多くあるかと思いますが、精一杯精進していく所存です。

これからどうぞ宜しくお願い申し上げます。

総合内科 山川 顕吾

2

6月より勤務させていただくこととなりました小出 祐也です。岐阜県総合医療センターで初期研修を行い、その後、岐阜大学医学部付属病院、岐阜県総合医療センターにて糖尿病を専門に診療を行っていました。松波総合病院では総合内科として勤務させていただきます。皆様のお役にたてるよう、努力していきますのでよろしくお願いいたします。

総合内科 小出 祐也

「8月号では「夜尿症の治療について」詳しくご紹介いたします。次号もぜひお手に取ってお読みください。」

ご家族とお子様へのメッセージ

ご家族の方へ

おねしょ治療の三原則は、「あせらず、怒らず、起こさず」です。あせってもすぐに治る近道はありませんし、お子様を怒ってどうかなるものでもありません。また、夜中にむやみに起こすのは熟睡を妨げてお子様の成長にとっては好ましくありません。「おねしょは病気ではないから、放っておいても自然に治る」とよく言われますが、何もせずにただ時間が経つのを待っているだけでは、無力感が漂いますね。

今は、昔と違って、おねしょに有効な治療法がありますので、積極的に夜尿症外来で治療をすれば、おねしょは自然に治るよりも早く治せます。さらには、放置しておいて知らない間に治っていたと言う状況に比べて、自分が頑張っておねしょを治したと言う体験はお子様にとって自己達成感が得られ、お子様の成長過程での自信に繋がります。

お子様へ

おねしょは病気ではないけれど、病院に行って治療を受ければ早く治すことができます。ただし、治療はおねしょを治すお手伝いをするだけです。

本当におねしょを治すのは君自身の力です。夕方から水分を控えて、寝る前2時間は水分を取らない、寝る前に必ずトイレに行くなど、基本的な生活習慣をきっちりと守った上で、毎日、夜尿の記録を付けて自分のおねしょの状態をしっかりと把握しましょう。



松ゼミのご案内

日時	平成28年7月28日(木) 17:30～	テーマ	「ショックと生体侵襲」
場所	松波総合病院 南館 MGHホール	内容	患者の生命を脅かす場面は、ショックを代表とする「生体侵襲」による反応です。侵襲という状況で患者の恒常性はどの程度保たれるのかを考えながらケアをすることが大切です。侵襲を知って、看護の質向上を目指しませんか？
講師	集中ケア認定看護師 長柄 敦子		

